



第3回研究主任会～今年度の振り返り・来年度に向けて～

2月19日（月）、第3回研究主任会を行いました。前半は、今年度の「読解力」育成プロジェクトについての振り返りを中学校区グループで行いました。協議で出た主な意見を、3つの観点（Keep・Problem・Try）に沿ってご紹介します。



Keep（良いこと・続けたいこと）

- ◎職員の意識が向上している
- RST（リーディングスキルテスト）等を分析し実態を把握する
- 職員間で情報を共有する（研修日より等） ○過去の実践を参考にする
- 指導案にRS（リーディングスキル）の視点を取り入れる
- ORSに着目して手立てを講じる（板書・ICT・フィードバックシート等）

Problem（問題点・課題）

- △職員の共通理解が弱い △取組に職員間の差がある △指導・助言できる教員が少ない
- △もっと子どもの実態に合った手立てを考える必要がある △RSへの理解が不十分
- △新たに燕市に赴任した教職員にRSを理解してもらうよう工夫が必要

TRY（改善策）

- ☆RSノートの活用に取り組む ☆5年生からRSTを受検する ☆読書時間を確保する
- ☆校内研究や教材研究の視点として、RSを意識する ☆9年間を見通した計画を立てる
- ☆「にいがた学びチャレンジ」（県のweb配信問題）を活用する
- ☆プロジェクトの内容を教職員に周知をする（4月研究主任会の話を全職員で聞く）
- ☆授業で教科の目標を達成させることを大切にする（RSが目的にならないように）
- ☆家庭学習でも子どもたちにRSを意識させる（フィードバックシートの活用等）

後半は、来年度の基本計画についての説明を聞いていただき、それに対する質問や意見を出していただきました。「読解力」育成プロジェクトの今後の発展につながる貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見を参考にし、より良い計画になるよう改善を図ります。ご参加いただきました研究主任の皆様、誠にありがとうございました。

研究主任会でご提出いただいた各校の振り返りシートを、燕市教職員限定 HP「つばめつながる広場」でご覧いただくことができます（「読解力プロジェクト」⇒「各校の読解力プロジェクト」の中に格納しました）。ぜひご覧ください。

つばめ「読解力」育成プラン（令和6年度版）ができました

燕市が進めている「読解力」育成プロジェクトについて、教職員での共通理解を図るために、市教育委員会では、つばめ「読解力」育成プランを発行しています。

このたび、令和6年度版が完成しました。令和6年度は、RSの視点を教師の授業改善とともに、子どもの家庭学習の改善にも活用していきます。そのねらいと内容、方法について詳しく記載しました。

また、「読解力」育成プロジェクトについて、新年度に燕市に赴任する教職員の皆様にも分かりやすいよう、内容を再構成しました。プロジェクトを進めるにあたり、参考になる資料等の所在も明示しています。

つばめ「読解力」育成プランは、燕市教職員限定 HP「つばめつながる広場」でご覧いただくことができます（「読解力プロジェクト」⇒「読解力育成プラン」の中から、閲覧・ダウンロードができます）。ぜひご覧いただき、各校での活用をお願いいたします。